

# 【学級づくりプログラム(分布3)】

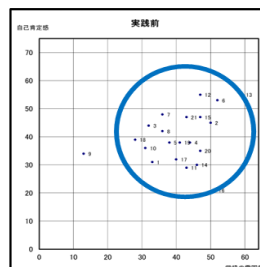
## ★日常観察による理解★

### 【教師による日常観察】

- 自分本位な部分がある。
- 友達への言葉掛けが優しくなってほしい。
- 大きなトラブルはあまりない。

## ★客観的な理解(C&S質問紙)★

### 分布3(座標の中ほどに集まった集団)



【援助や支援方法】  
誰もが認められ、楽しい学級にするために、友達の失敗を許したり、励ましたりすることを意識させる活動が有効である。

※補助資料参照

## 【SST】「言葉の掛け方」

温かい言葉を掛けられる体験を通して認められるよさを味わい、人間関係も温かくすることができる。

## プログラムⅠ(実態に基づいたSST)

### ○学級活動

(温かい言葉掛けができる学級にしよう)



- 事前の活動 3日(アンケート等)
- 本時 「言葉の掛け方」のSSTでスキルを身に付ける。
- 事後の活動 5日(自己チャレンジ)

学級活動で活用・定着

## プログラムⅡ(実態に基づいたSSTを活用した学級活動)

### ○学級活動

(みんななかよく)



- 事前の活動 1日(アンケート)
- 本時 仲よく過ごすための工夫を考える話合い活動で「言葉の掛け方」のSSTで身に付けたスキルを活用し、定着を図る。
- 事後の活動 5日(なかよしチャレンジ)

**学 級 活 動 学 習 指 導 案**  
**題材名「温かい言葉掛けができる学級にしよう」**

令和〇年〇月 2年 指導者 〇〇 〇〇

**I 題材の構想**

**1 題材観**

少子・核家族化の影響から家庭教育で子供が多くの人と関わることが難しくなっている中で、子供たちに計画的に対人関係の体験学習を実施することが求められている。学校では、子供たちの社会が形成されており、生活を通して、社会のルールやそれぞれの子供たちの気持ちと折り合いを付けながら、自分の思いや欲求を満たしていく術を身に付けている。そこで、学校教育の中で対人関係の体験学習となるソーシャル・スキル・トレーニング（以下、SST）を計画的に行うことが有効であると考える。

本題材では、学級活動「（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」を通して、「イ よりよい人間関係の形成」に取り組む。実態に基づいたSSTを取り入れた学級づくりを行い、自分の考えや思いの伝え方を学んだり、相手の感情を読み取ったり、コミュニケーションの取り方を考えたりすることを通して、自他を尊重し、一人一人が互いに認め合える児童の育成を目指す。

**2 研究との関わり**

「生徒指導提要」では、生徒指導の基本は児童生徒理解であり、調査データに基づく客観的な理解も有効であると記されている。日頃の日常観察による理解に加え、客観的な理解に基づくことで、児童の実態に基づいた具体的な指導や支援を取り入れた学級づくりができると考える。本研究では、日常観察による理解と客観的な理解に基づき、実態を把握し、実態に基づいたSSTを活用する。

本学級は、C&S質問紙の調査結果が分布3であった。分布3では、「誰もが認められ、楽しい学級にするために友達の失敗を許したり、励ましたりする活動が有効である。」と示されている。また、自分本位の考え方や友達に対する言葉掛けが優しくなってほしいという日常観察による理解が確認されている。そこで、「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」など、相手の気持ちをよくして関係を深めるスキル「言葉の掛け方」のSSTを行う。児童理解に基づいたSSTを行うことで、互いに気持ちよく生活するためのルールが定着し、安心して交流することができるようになり、本音で交流できるリレーションが形成されることで共感的な人間関係を育むことができると考える。

**3 題材の目標及び児童の実態**

	目 標	児童の実態
知識及び技能	学級や学校において、互いのよさを見つけ、仲よく信頼し合って生活するための基本的な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	友達同士、互いの価値観を理解しながら生活を送っている反面、自分の意見や思いが中心となって行動していることが多い。
思考力・判断力・表現力等	学級における自己の生活上の課題に気づき、解決方法を意思決定し、実践できるようにする。	集団生活における自己の課題に気付いたり、意思決定したりすることがなかなか難しく、周囲に流されてしまうこともある。
学びに向かう力、人間性等	友達と関わる過程を通して、自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養う。	友達と関わる場面では、困っている友達に対して協力しようという態度が見られたり、自分から声を掛けたりする姿勢が見られる。

**4 評価規準**

よりよい生活を築くための知識・技能	自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。

主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。
--------------------------	--

## 5 授業計画

事前の活動（3日）	本時	事後の活動（5日）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月6日（金）</li> <li>・10月11日（水）</li> <li>・10月12日（木）</li> </ul> 朝の会・ 帰りの会	・10月17日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月18日（水）</li> <li>・10月19日（木）</li> <li>・10月20日（金）</li> <li>・10月23日（月）</li> <li>・10月24日（火）</li> </ul> 帰りの会

## 6 指導及び評価、ICT活用の計画（「事前の活動→本時の活動→事後の活動」）

時間	<p>■ねらい</p> <p>□学習活動</p> <p>★ICT活用に関する事項</p> <p>【 】SSTの流れ</p>	知	思	態	<p>◆評価項目＜方法（観点）＞</p> <p>〔記〕：記録に残す評価</p> <p>○指導に生かす評価</p> <p>●評定に用いる評価</p>
事前の活動	<p>■友達への言葉の掛け方を振り返り、自己の課題に気付いたり、クラスの問題意識を高めたりする。</p> <p>□学校生活を振り返り、自分の言葉の掛け方に気付けるようなアンケートに答える。〔★〕</p> <p>□アンケートの結果から学級内での言葉の掛けの課題を知る。</p> <p>□友達のよさを見付けるために本時に向けた「いいところ探しカード」を作成する。</p>			○	<p>◆事前の活動は3日間でいき、①アンケートに答える。②クラスの課題を知る。③「いいところ探しカード」の作成に進んで取り組んでいる。</p> <p>＜アンケート、ワークシート（態）＞</p> <p>◆席順のたて列4人と隣のたて列4人と教師分を友だちのよさを見つけながらカードを作成している。</p> <p>＜アンケート（態）＞</p> <p>◆友達への言葉の掛け方を進んで振り返り、クラスの課題に向き合おうとしている。</p> <p>＜アンケート（態）＞</p>
<p>〔題材の学習課題〕</p> <p>あたたかい言葉を掛けられる体験を通して認められるよさを味わい、人間関係もあたたかくしよう。</p>					
本時（学級活動）	<p>■言葉の掛け方のコツを習得することを通して、言葉の掛け方を身に付けることができる。</p> <p>□学級言葉の掛け方の課題を再確認する。</p>	●			
<p>〔本時のめあて〕</p> <p>あたたかい言葉のシャワーを学級に広げよう。</p>					
<p>【①インストラクション】</p> <p>□場面絵を取り入れ、その時の表情からどのような言葉が温かい言葉か児童が考え、教師の説明を聴く。</p> <p>【②モデリング】</p> <p>□言葉の掛け方にはコツ（その人の様子＋気持ちを表す言葉）があることに気付く。</p>					

	<input type="checkbox"/> 言葉の掛け方のコツを基にした教師の見本を見る。 <b>【③リハーサル】</b> <input type="checkbox"/> 言葉の掛け方のよさを知り、「いいところ探しカード」を基にペアで言葉の掛け方を練習する。 <input type="checkbox"/> 言葉の掛け方のよさを知り、「いいところ探しカード」を基にグループで言葉の掛け方を練習する。【★】 <b>【④フィードバック】</b> <input type="checkbox"/> 言葉の掛け方の学習を通して感じたことを振り返る。 <input type="checkbox"/> 事後の活動の「自己チャレンジ」の内容を決める。			<p>◆言葉の掛け方のコツを使って、友達同士で温かい言葉掛けをしている。</p> <p>&lt;行動観察、発言、ワークシート (知) [記] &gt;</p>
事後の活動	<p>■自己の課題にチャレンジすることを通して、身に付けたスキルを活用・定着することができる。</p> <input type="checkbox"/> 自己の課題にチャレンジする。 <input type="checkbox"/> ペアやグループ、学級全体で、それぞれの自己チャレンジの内容を聴き合う。【★】	●		<p>◆自己の課題に対して、進んで言葉の掛け方に取り組んでいる。</p> <p>&lt;行動観察、発言、ワークシート (思) [記] &gt;</p>

## Ⅱ 本時の学習

- ねらい 言葉の掛け方のコツ（その人の様子+あたたかい言葉）を習得することを通して、言葉の掛け方のスキルを身に付けることができる。

## 2 展開

<p>主な学習活動            予想される児童(生徒)の反応【S】            ★ICT活用に関する事項            【】SSTの流れ</p>	<p>◎研究上の手立て            ○指導上の留意点            ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 アンケート結果から課題を再確認する。            【★】（3分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;めあて&gt;              あたたかい言葉のシャワーを広げよう。</p> </div>	<p>○日頃から自分が発している言葉が、友達にはどのような影響を与えているか気付けるように促す。</p> <p>○学級全体で課題を再確認するために事前の活動のアンケート結果を大型モニタに表示する。</p> <p>○めあてを提示し、本時で学習する内容を明確にする。</p>
<p>2 言葉の掛け方について問題をもつ。（7分）  <b>【①インストラクション】</b>            ○場面絵を取り入れ、その時の表情から「どのようなものがあたたかい言葉」であるかを考える。</p> <p>T：場面1では、どんな言葉が多かったですか。            S：悲しくなる言葉やダメといわれている言葉が多い。</p> <p>T：場面2では、どんな言葉が多かったですか。            S：嬉しくなる言葉やほめられている言葉が多い。</p>	<p>○ワークシートの場面絵を基に、どんな内容だと受け手が悩んでしまうのか、どんな内容だと受け手が喜ぶのかを学級全体で考えられるようにする。</p> <p>○「どのようなものがあたたかい言葉」であるかを考えるために、ワークシートの場面1、場面2のそれぞれの共通点は何かを問い掛ける。</p> <p>○児童が「あたたかい言葉」をイメージできるように、「あたたかい言葉」とは、「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」など、相手の存在を肯定し、相手を心地よくさせる言葉であることを教師が説明する。</p>

<p><b>3 言葉の掛け方のコツに気付く。（5分）</b></p> <p>【②モデリング】</p> <p>○場面絵の内容から言葉の掛け方にはコツ（その人の様子＋気持ちを表す言葉）があることに気付く。</p> <p>T：場面2の言葉の掛け方で何か気付くことはありますか。</p> <p>S：自分のやったことのあとに優しい言葉やほめる言葉が付いている。</p> <p>○言葉の掛け方の見本を見る。</p> <p>T：〇〇さんのいいところは、いつもお手伝いをしてくれるところです。ありがとう。</p> <p>T：〇〇さんのいいところは、優しいところです。ずっと優しいままでいてね。</p>	<p>○ワークシートの内容から場面2では、共通している言葉の掛け方があることに気付けるようにする。</p> <p>○言葉の掛け方のコツに気付けるように、その人の様子＋気持ちを表す言葉（「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」が分かる部分）にラインを引く。その人の様子に青ライン、気持ちを表す言葉には赤ラインを引く。</p> <p>◎学級全体もあたたかい雰囲気にするために、言葉の掛け方のコツを見付けられた児童や友達頑張りを認められた児童を称賛する。</p> <p>○事前に作成した「いいとこ探しカード」を用いて、教師が言葉の掛け方のコツを意識した見本を見せる。</p> <p>○児童が「いいとこ探しカード」の使い方を分かるように、黒板に伝え方の例示を示す。「〇〇さんのいいところは、△△のところですよ。□□。（あたたかい言葉）」</p>
<p><b>4 言葉の掛け方を練習する。[★]（20分）</b></p> <p>【③リハーサル】</p> <p>○「いいとこ探しカード」を基にペアで言葉の掛け方を練習し、感想を発表する。</p> <p>S：〇〇さんのいいところは、△△のところです。□□。（あたたかい言葉）</p> <p>S：〇〇さんのいいところは、△△のところです。□□。（あたたかい言葉）</p> <p>T：ペアでやってみてどんな気持ちになりましたか？</p> <p>S：嬉しい。ちょっと恥ずかしい。</p> <p>S：いい気持ちになった。</p> <p>○「いいとこ探しカード」を基に4人グループで言葉の掛け方を練習し、感想を発表する。</p> <p>T：グループでやってみてどんな気持ちになりましたか？</p> <p>S：みんなからほめてもらえて嬉しい。自分には分からないところをほめてくれて、驚き。</p>	<p>○あたたかい言葉にはどのようなものがあるか再確認し、言葉の掛け方のよさを確認してから練習できるようにする。</p> <p>○事前に作成した「いいとこ探しカード」を用いて、隣の人とペアで言葉の掛け方ができるようにする。じゃんけんで勝った児童から先に行く。</p> <p>○黒板に掲示してある言葉の掛け方のコツを取り入れたものになるように「いいとこ探しカード」に書いていない内容も考えながら発表できるように助言する。</p> <p>◎ICTで活動を録画し、練習の様子を可視化し、スキルの使い方を客観視できるようにする。</p> <p>◎共感的な人間関係を育むために、言葉の掛け方の重要性を理解し、進んで言葉の掛け方に取り組んでいる児童を称賛する。</p> <p>○事前に作成した「いいとこ探しカード」を用いて、縦列の4人グループで練習を行う。</p> <p>○聞き役は1人とし、話し役の3人が順番に言葉の掛け方の練習をする。これをローテーションしながら、聞き役と話し役を交換していく。</p> <p>○言葉の掛け方のよさに気付けるために、複数の友達から言葉を掛けられた体験を通して、感じたことを発表させる。</p> <p>○言葉の掛け方が少人数から大人数になることで人間関係をあたたかくすることが理解できるようにする。</p>

	<p>◆評価項目</p> <p>言葉の掛け方のコツやよさを知り、友達同士であたたかい言葉掛けをしている。</p> <p>&lt;行動観察、発言、ワークシート（知）&gt;</p>
<p>5 言葉の掛け方の学習を振り返り、「自己チャレンジ」の内容を決める。（8分）</p> <p>【④フィードバック】</p> <p>○「言葉の掛け方」の体験を通して感じたことを振り返る。</p> <p>S：ほめてもらえてうれしかった。</p> <p>○事後の活動の「自己チャレンジ」の内容を決める。</p> <p>S：友達をたくさんほめたい。</p>	<p>○体験を振り返り、ワークシートに感じたことを記入する。</p> <p>○様々な意見に触れるために、体験を通しての感想を発表させる。</p> <p>◎活用・定着を図るために言葉の掛け方を活用しながら練習ができていたことをほめ、やる気を高める。</p> <p>◎スキルの定着を図るために、発表の場でも言葉の掛け方が活用できる雰囲気づくりに努める。</p> <p>○自己チャレンジを決める場面では「言葉の掛け方」のよさを振り返り、相手意識をもたせて内容を決めるようにする。</p> <p>○自己チャレンジが決まらない児童のために、例示を示したり、他の児童の内容を伝えたりする。</p>

### 3 板書計画

めあて あたたかい言葉のシャワーを広げよう		体験の感想
場面 1	場面 2	
あたたかい言葉 「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」 コツ：その人の様子＋気持ちを表す言葉		【自己チャレンジ】

# 【あたたかい言葉がけができる学級にしよう】

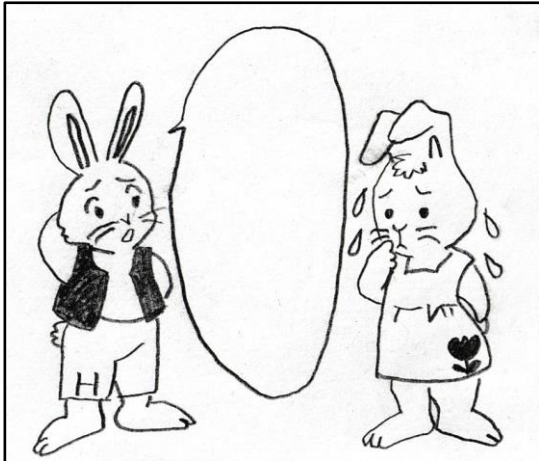
組

番 名前

## ★下の絵を見て、考えよう。

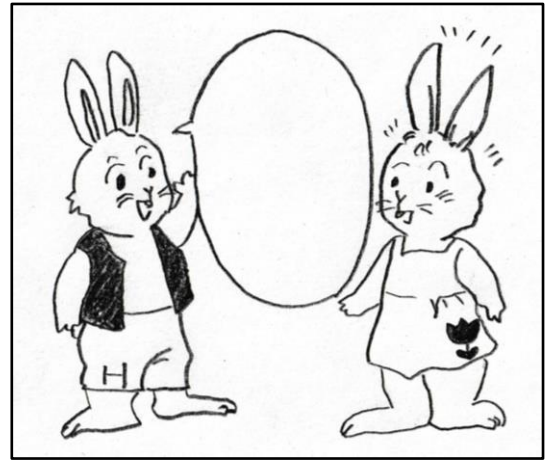
ぴよん吉くん(左)はうさ美ちゃん(右)になんと言っているのでしょうか。場面1・場面2にあうものを下からえらんで( )の中に番号を書きましょう。

【場面 1】



( )

【場面 2】



( )

- ①「とってもいい走りになったね。たくさんれんしゅうしたんだろう。すごいね。」
- ②「きょうもまたわすれものをしたの。」
- ③「なんでもっとはやく走れないの。」
- ④「このけいさんちがっているよ。こんなのもできないの。」
- ⑤「きみはとてもピアノがじょうずだね。すごいね。」
- ⑥「きのうは、にもつをもってくれてありがとう。」

## ★「言葉のかけ方」の体けんの感そうを書こう。

(れい:〇〇がわかった。〇〇が楽しかった。〇〇がじょうずだった。)

★チャレンジすることを決めよう。

<目ひょう>

★目ひょうをふりかえろう。(自分のがんばりにあう顔マークに○をつけよう)

① (    /    )



② (    /    )



③ (    /    )



④ (    /    )



⑤ (    /    )



★チャレンジをしてみての感そうを書こう。★



# 学 級 活 動 学 習 指 導 案

## 題材名「みんななかよく」

令和〇年〇月 2年 指導者 〇〇 〇〇

### I 題材の構想

#### 1 題材観

学級活動（2）内容「イ よりよい人間関係の育成」では、「学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること」が含まれている。学級生活の充実と向上を目指し、他者と協力したり、個人として努力したりしながら楽しさや成就感、達成感を得ることが学級活動において大切なことである。

学校生活にも慣れ、約束や決まりを守ることの大切さを理解して行動できるようになってきた。しかし、まだまだ、自分勝手な行動であったり、相手を尊重できない言動が見られたりする。本題材では友達と仲よくしたり、協力したりすることを通して、自己と他者の価値観の違いを理解しながら、多様な他者と協力し合えるような態度を養っていく。

#### 2 研究との関わり

本研究では、児童の実態に基づいたソーシャル・スキル・トレーニング（以下、S S T）を取り入れた学級づくりプログラムを行い、自他を尊重し、一人一人が互いに認め合える児童の育成を目指す。プログラムⅠでは実態に基づいたS S Tを学級活動で行い、プログラムⅡではS S Tで身に付けたスキルを話し合い活動で活用した授業を実践していく。

本学級では、「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」など、相手の気持ちを良好にして人間関係を深める「言葉の掛け方」のS S TをプログラムⅠで行い、プログラムⅡでは「言葉の掛け方」のS S Tで身に付けたスキルを学級活動の話し合い活動で活用することを通して、児童一人一人の個性を尊重し、国籍など様々な違いにとらわれず、他者と協働する力を育み、よりよい学級づくりにつなげていく。

#### 3 題材の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	学級や学校において、互いのよさを見つけ、仲よく信頼し合って生活するための基本的な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	友達同士、互いの価値観を理解しながら生活を送っている反面、自分の意見や思いが中心となって行動していることが多い。
思考力・判断力・表現力等	学級や学校において、他者と協働し、生活上の課題に向き合い、解決方法を意思決定し、実践できるようにする。	集団生活における自己の課題に気付いたり、意思決定したりすることがなかなか難しく、周囲に流されてしまうこともある。
学びに向かう力、人間性等	学校や学級内における友達と関わる過程を通して、自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養う。	友達と関わる場面では、困っている友達に対して協力しようという態度が見られたり、自分から声を掛けたりする姿勢が見られる。

#### 4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

## 5 授業計画

事前の活動（1日）	本時	事後の活動（5日）
・10月26日（木） 朝の会	・10月30日（月）	・10月31日（火） ・11月1日（水） ・11月2日（木） ・11月6日（月） ・11月7日（火）

帰りの会

## 6 指導及び評価、ICT活用の計画（「事前の活動→本時の活動→事後の活動」）

時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項 ◇SSTに関する事項 【 】SSTの流れ	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ 〔記〕：記録に残す評価 ○指導に生かす評価 ●評価に用いる評価
事前の活動	■学級内での友達同士の関わりを振り返ることを通して、学級内の課題を把握する。 □友達同士の関わりに関するアンケートに答える。〔★〕			○	◆友達同士の関わりに関するアンケートに意欲的に答えている。 ＜アンケート（態）＞
[題材の学習課題] 学級づくりのプログラムIで身に付けたSSTのスキルを話し合い活動で活用し、学校生活においてみんなで仲よく過ごすための工夫を考え、チャレンジしてみよう。					
本時	■学校生活において、みんなで仲よく過ごすための工夫を学級で考え、自分に合った課題を決めることができる。		●		
[本時のめあて] みんなで仲よく過ごせるための工夫を考え、なかよしチャレンジを決めよう。					
学級活動	□アンケート結果や教師の話から学級の課題を把握する。 □原因について学級全体で考え、今までの自分を振り返る。 □グループで話し合い活動をし、仲よく過ごすための工夫を考え、学級全体で確認する。〔★〕〔◇〕 【①インストラクション】 ◇言葉の掛け方のSSTを教師の説明を基に再確認する。 【②モデリング】 ◇言葉の掛け方のコツを基にしたスキルの使い方の見本を見る。 【③リハーサル】 ◇言葉の掛け方のコツを活用しながら話し合い活動をする。 【④フィードバック】 ◇言葉の掛け方のコツを活用した話し合い活動を振り返る。 □事後の活動の自分の課題（なかよしチャレンジ）を決める。				◆みんなで仲よくするための自己の課題を決めることができる。 ＜ワークシート（思）〔記〕＞

事後の活動	<p>■自分の課題を実践することを通して、みんなで仲よく学校生活を送れるようにする。</p> <p>□自己の課題（なかよしチャレンジ）にチャレンジする。</p> <p>□自分の課題の実践を振り返り、ペアやグループ、学級全体で発表し合ったり、がんばりを認め合ったりする。〔★〕</p>	●	◆みんなで仲よく生活できるように自己の課題に取り組んでいる。 ＜行動観察、発言、ワークシート（知）〔記〕＞
-------	---	---	--

## Ⅱ 本時の学習

- 1 ねらい 学校生活においてみんなで仲よく過ごすための工夫を学級で考え、自分にあった課題を決めることができる。

## 2 展 開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項 ◇SSTを活用する事項 【 】SSTの流れ</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 アンケート結果から課題を再確認する。 〔★〕（5分） ○アンケート結果や教師の話から学級の問題を把握する。</p>	<p>◎最近の学級の一場面を大型モニタに表示し、視覚化による学級の問題の共有を図る。 ○自分事として捉えられるように、教師は学級で起こった問題について話をする。 ○めあてを提示し、本時で学習する内容を明確にする。</p>
<p>＜めあて＞ みんなでなかよくすごせるためのくふうを考え、なかよしチャレンジを決めよう。</p>	
<p>2 原因について考える。（10分）</p> <p>○原因について学級全体で考える。</p> <p>T：どんな時に口喧嘩や言い争いはおきますか？ S：休み時間。掃除の時間。</p> <p>T：クラスの中で、なぜ口喧嘩や言い争いが起こるのだろう？ S：自分勝手。言うことをきかない。</p> <p>○今までの自分を振り返り、ワークシートに記入する</p> <p>T：今までの自分はどうでしたか？ S：自分勝手だった。 S：いつも優しくしていた。</p>	<p>○学級の課題を解決するために、どんな時に口喧嘩や言い争いが起きているか問い掛ける。 ◎友達の発言に対して、自分の考えを伝える時に言葉の掛け方のコツを活用することで、話し合いがしやすい雰囲気をつくる。 ○学級の課題を解決するために、なぜ口喧嘩や言い争いが起きているか問い掛ける。</p> <p>○よりよい学級をつくるために、自分は学級の一員であり、自分事に置き換えて考えられるように問い掛ける。 ○自分を振り返る場面では、様々な考え方や価値観に触れることができよう、多くの意見を取り上げる。 ○特性からの行動に目を向けた意見が出たときにはそれを個性としてとらえ、尊重できるような雰囲気づくりを心掛ける。</p>
<p>3 解決方法を話し合う。〔★〕〔◇〕 （20分） ○仲よく過ごすための工夫をワークシートに記入する。</p>	

T : どうすれば口喧嘩や言い争いがなくなり、みんなが本当の仲よしになれるのかな？  
S : 口喧嘩や言い争いをしなければいい。  
T : 簡単にできるのかな・・・。  
T : 今日は仲よく過ごすための工夫をグループで考えていきます。  
T : みんなで仲よく過ごすためにどんなことをしたらよいかまずは、自分の考えをワークシートに記入しましょう。

○ワークシートを基に話し合う。

◇【①インストラクション】

T : みんなで仲よく過ごすための工夫について話し合いたいと思います。  
T : 話をするときに大事なことがありましたね。  
S : あたたかい言葉を使う。  
T : 使うとどんなよいことがありますか。  
S : 嬉しくなるよ。

◇【②モデリング】

T : 言葉の掛け方の見本を見せます。  
T : 宿題を忘れないために何か工夫をしている人？  
S : 「ぼくは、帰ったらすぐに宿題をやる。」です。  
T : ○○さん、それいいね。すごいね。

◇【③リハーサル】

T : 言葉の掛け方を使いながら話し合い活動をしていきます。「みんなで仲よく過ごすための工夫」について、グループで話してみましょう。  
S : 「けんかの場面ではしっかりと話を聞く。」だと思います。  
S : ○○さん、意見が言えてすごいね。

◇【④フィードバック】

T : 言葉の掛け方のコツを使いながら話し合い活動ができていましたね。

○学級全体で工夫について確認する。

T : どんな工夫がありましたか？  
S : ○○の場面では、△△がいいと思います。  
S : ○○さんの意見、すごくいいと思います。

○学級の課題を再確認し、どうすれば本当の仲よしになれるのか問い掛ける。

○クラスの課題のために自分の考えをワークシートに記入するように伝える。  
○具体的な場面が想像できるように「○○の時には～がいいです。」のように、いつの場面でどのような工夫がよいか考えられるように助言する。

【SST ①インストラクション】

◎ICTに録画してあるSSTの様子を観ることで、学級全体で言葉の掛け方のSSTを再確認させる。  
◎言葉の掛け方のコツを使うとなぜよいのか教師が説明をする。

【SST ②モデリング】

◎言葉の掛け方のコツを使い、見本を見せる。  
○言葉の掛け方を話し合い活動の中で活用できるような手本を見せる。  
◎言葉の掛け方のコツを確認し、言葉の掛け方のコツを使うことで人間関係があたたかくなることを思い出せるようにする。

【SST ③リハーサル】

◎話し合い活動の中で言葉の掛け方を意識できるような助言をする。  
○話し合い活動が終わったグループは、もとの席に戻るように伝える。

【SST ④フィードバック】

◎「言葉の掛け方のコツ」を意識して、話し合い活動ができていたグループを称賛する。  
◎話し合いを振り返り、あたたかい人間関係を実感できるようにする

○仲よくするための工夫を発表させ、黒板にまとめ、クラス全体で共有できるようにする。  
◎学級全体の場面でも言葉の掛け方のスキルを活用している児童を称賛する。

	<p>○今までの自分を思い出し、一人一人が行動を改めれば、学級全体が仲よくなることを理解できるようにする。</p>
<p><b>4 自己の課題を決める。 (10分)</b></p> <p>○なかよしチャレンジを決め、ワークシートに記入する。</p> <p>T：みんなでなかよく過ごすために、自分ではどんなことに気を付けますか？</p> <p>S：困っている場面では、「どうしたの？」と声を掛ける。</p> <p>S：休み時間、一人でいる友達がいたら「大丈夫？」と声を掛ける。</p> <p>S：優しい言葉を使う。</p>	<p>○授業を振り返りながら、自分に合った課題を決定できるようにする。</p> <p>○自己の課題がなかなか決定できない児童に対しては、例を示したり、友達の課題を参考にしたりしてよいことを伝える。</p> <p>○具体的な課題がもてるように、「どんな場面で」「どのように」という視点でワークシートに記入できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>みんなで仲よくするための自己の課題を決めることができる。</p> <p style="text-align: center;">＜発言、ワークシート（思・判・表）＞</p> </div>

### 3 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて みんななかよくすごせるためのくふうを考え、なかよしチャレンジを決めよう。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どんな時？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">何で？</div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分をふりかえる</div> </div> <div style="width: 50%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">みんなでなかよくすごすためのくふう 〇〇の時に～がいいと思います。</div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">＜なかよしチャレンジ＞</div> </div> </div>	
---	--

## 【みんななかよく】

組

番

名前

★げんいんについて、今までの自分をふりかえってみよう。

★みんなでなかよくすごすために、「どんな時」に「どんなことをしたらよいか」書いてみよう。



★「なかよしチャレンジ」を決めよう。

★「なかよしチャレンジ」と「言葉のかけ方」をふりかえろう。

①(    /    ) ・なかよしチャレンジ



・言葉のかけ方



②(    /    ) ・なかよしチャレンジ



・言葉のかけ方



③(    /    ) ・なかよしチャレンジ



・言葉のかけ方



④(    /    ) ・なかよしチャレンジ



・言葉のかけ方



⑤(    /    ) ・なかよしチャレンジ



・言葉のかけ方



★「なかよしチャレンジ」の感そうを書こう。